

日刊 動労千葉

85. 3. 2

No. 1878

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）公衆〇四七二（二二）七二〇七

「60・3」実力粉碎 20-21 第一波 順法行動を叩いて

われわれは、情勢が厳しいからといって、労働強化と人減らし、そして大量の「過員」を生み出す「60・3」を黙って受け入れるわけにはいかない。一二〇〇組合員は何度も意志一致し、満を持して2・20/21第一波闘争に決起し闘いぬいた。

この闘いは、国鉄労働運動が敵の攻撃のすさまじさのまにに屈服し、まったく闘えない状況のもとで唯一突出した闘いであるがゆえに大変な重圧が加えられた。当局は現認体制をしき「嚴重処分」で恫喝する一方、大量の管理者を総武線各駅に配置し、運行確保にのみ全力をあげ、闘争圧殺に血眼になったのである。こうした緊迫した状況を突き破り、一人一人の組合員の決意と奮闘によって闘いぬかれたのだ。われわれは、困難な状況を突破して闘いを貫徹し、「60・3」の強行を阻止した。この闘いを教訓化し、さらに闘う決意をうち固めている。

各支部から闘いの報告が入ったので紹介する。

「まだまだやれる！」
—闘って大きな自信—

成田支部通信員・発

成田支部は19日の17時、第一波闘争突入集会を圧倒的にかちとり、20日より48時間の非協力・安

勝利のカギ

NO.8
1985.2.28
動労千葉成田支部
青年部発行

2・20～21 非協力・安全確保行動の第一波闘争を我々成田支部は、全組合員の団結と決起で貫徹した。この実力闘争への決起は、国鉄労働組合ははるかに全国の働く人民に勇気と信念を与え、おびただしく感動をよび送られた。さらに中曾根、国鉄高層、労働力マシを止めとする反動勢力に打撃を与え、動労千葉の路線の正統を主張し、見せつけた。我々には実力闘争あるのみです。

3.2 「60・3」動労千葉総決起集会 17:30～
千葉中央公園(CA)横

▲成田支部青年部(3/28) ▼成田支部(2/23)

週刊 炎

1785.2.23
動労千葉成田支部
発行 日曜版

20日の早朝、仕事を終え帰ってくる組合員は、「60・3」の怒りの決起に対し、当局はなすすべもなく、ただ傍観するばかりであった。

われわれは「60・3」攻撃に対する大きな反撃の第一歩を闘い出した。この闘いを出発点に「60・3」粉碎にむけ、さらに闘いぬく。

反動風同助役が支部妨害33

やるぞ2波!

集まれ!本総決起集会
3月2日、17時30分
千葉市・中央公園

国労、千葉車両労組の連帯をうけて闘いぬく

幕張支部通信員・発

幕張支部は20日、21日の両日、国労分会組合員、千葉車両労組の連帯のなかで安全確保行動をやりきった。

各職種、パートごとの討論と集会を重ね、両日の決起を今後の3月闘争、分割・民営化阻止、労働連帯、中曾根打倒への第一弾として奮闘してきた。

行動中、青年部、支部役員はろう城で

指導責任を貫徹し、夕方は津田沼駅頭、宿舎へのビラ入れを行うなど全組合員による総決起、総団結の闘いとして取り組んできた。21日の昼休み集会は、全員が構内に出て青空集会とデモを決行し、意気を盛りあげた。

われわれは、厳しい情勢下での創造的闘い方をつくりだすための第一波として、やりきってきたことに確信を深め、今後一層反撃態勢を固めることをしっかりと確認した。

60・3 反撃打破! 首切り三本柱(運転強要、出退、一環解体)粉碎! 分割・民営化阻止!

20.21 全組合員の安全確保・安全運転の貫徹

反撃すべし! 第一波に立ちまわ!

1. 安全確保行動の徹底
2. 安全運転の徹底
3. 出退の徹底
4. 一環解体の徹底

1人の首切りも許さな!

60・3 ダイ改 阻止闘争に決起しよう!

前輪ぜんりん

NO.30
1985.2.6

2/12～19 労働組合(非営利)の活動

3/3 労働組合